

「野の花の丘便り」5月下旬

いつもと違う春

人間の世界では、今大変な事になっており、いつもと違う春ですが、植物の世界ではそんなことには関係なく今年もいつもと同じ春、新しい春が始まっています。

今年には野の花の丘の雪が完全になくなったのは4月中旬でした。雪が消えてわずか1ヶ月でセンダイハギは早くも黄色い花を咲き始めています。今見渡して見るとエゾカワラマツバ、エゾクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオ、ハンゴンソウ、ヤマハハコなどが芽を吹き、日に日に大きく成長してきています。

一方、厄介者のセイタカアワダチソウも沢山芽を出しまたどこからやって来たのか、いろいろな木の実生が沢山沢山、放っておくと花が駆逐されてしまいそうです

今年の「野の花の丘」の作業は、先行きが見えない中で、知恵を出していかなければと思っています。

今年も芽を吹き始めた花の芽

エゾクガイソウ



ヤナギラン



オカトラノオ



早くも咲き始めたセンダイハギ

